

平成 28 年度入試 個別学力試験問題

総合問題（出題意図）

《法文学部 社会文化学科》

1 住居のあり方に関するユニークなとらえ方を提示する、建築家青木淳の「原っぱの家」の全文を出題した。

問 1 漢字に関する基本的な運用能力の評価を意図した。

問 2・問 3 定型的な日本語表現に関する基本的な理解力の評価を意図した。

問 4 本文を理解する上でのキーワードの一つである「首尾一貫性」を文脈に即して理解したうえで、その具体的な展開として「野原」「原っぱ」「遊園地」のそれぞれのあり方を、論理的に把握できているか、表現力とあわせて問うた。

問 5 問 4 の設問をふまえ、「遊園地」に対する筆者の批判的視点が理解できているか、表現力とあわせて問うた。

問 6 問 4 の設問をふまえ、「曲がり屋」のあり方に関連して、「原っぱ」に対する筆者の肯定的視点が理解できているか、表現力とあわせて問うた。

2 人口急減社会に突入しつつある日本の現状と課題を簡潔に描き出した朝日新聞の社説の全文と、これを補足する 7 点の図表資料を出題した。

問 1・問 2 図表の数値を正確に読み取り、パーセンテージや倍率に関する初歩的な計算が確実にできるかどうかの評価を意図した。

問 3・問 4 図表の数値の変化から読み取れる事柄の意味を的確に表現できるか、問うた。

問 5 問題文と図表から読み取れる全体的な枠組みのなかで、「終末期ケア」の位置づけが理解できているか、表現力とあわせて問うた。

問 6 問題文と図表から読み取れる全体的な枠組みのなかで、日本における人口急減社会の到来について論理的に説明できるか、表現力とあわせて問うた。